

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の取組状況

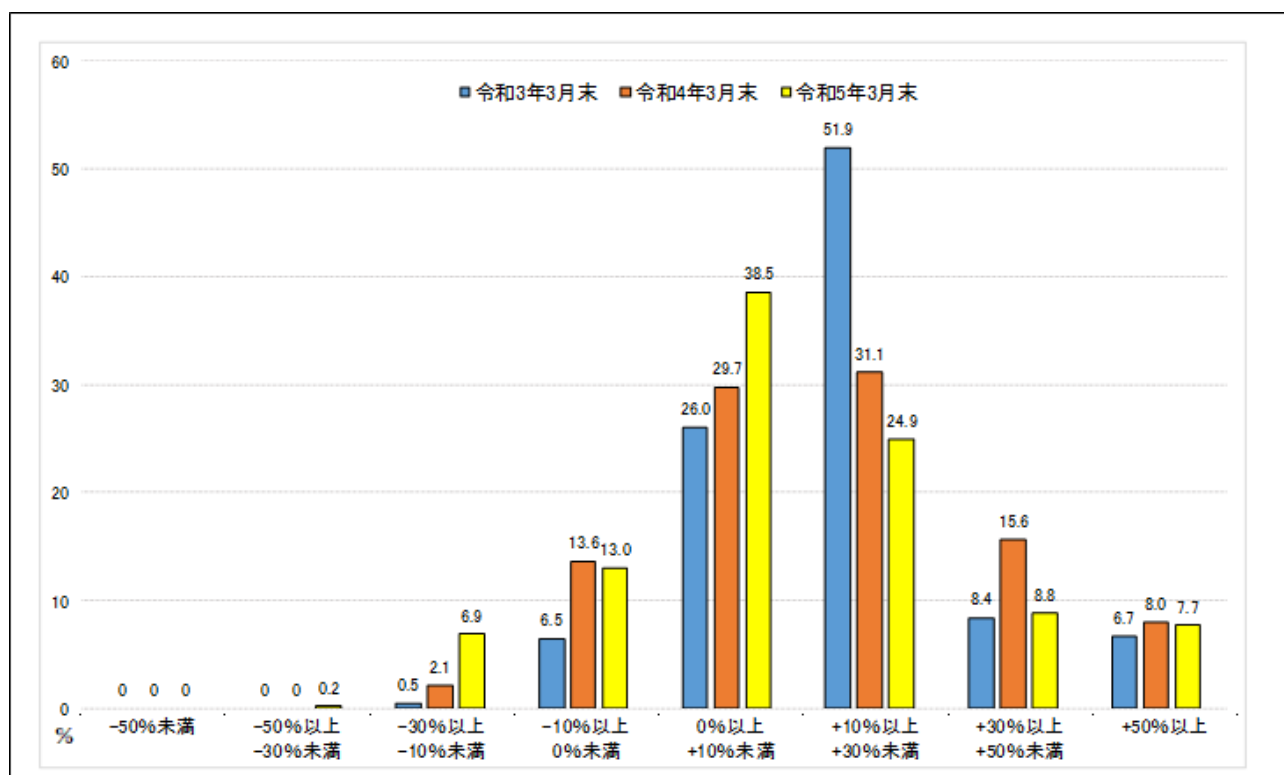
当金庫は、「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針」に対する成果指標（KPI）と取組状況を以下のとおり公表いたします。

I 【共通KPI】

■投資信託の運用損益別顧客比率（令和5年3月末）

当金庫で、投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況です。

運用損益が、プラス（0%以上）のお客さまの比率は、79.9%となっています。



運用損益の計算について

- ・ 基準日時点の評価金額＋累計受取分配金（税引後）＋累計売付金額－累計買付金額（販売手数料（税込）含む）
- ・ 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

■投資信託預り銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン

【令和5年3月末】

預り上位銘柄のうち、設定後5年以上の20銘柄が対象となります。

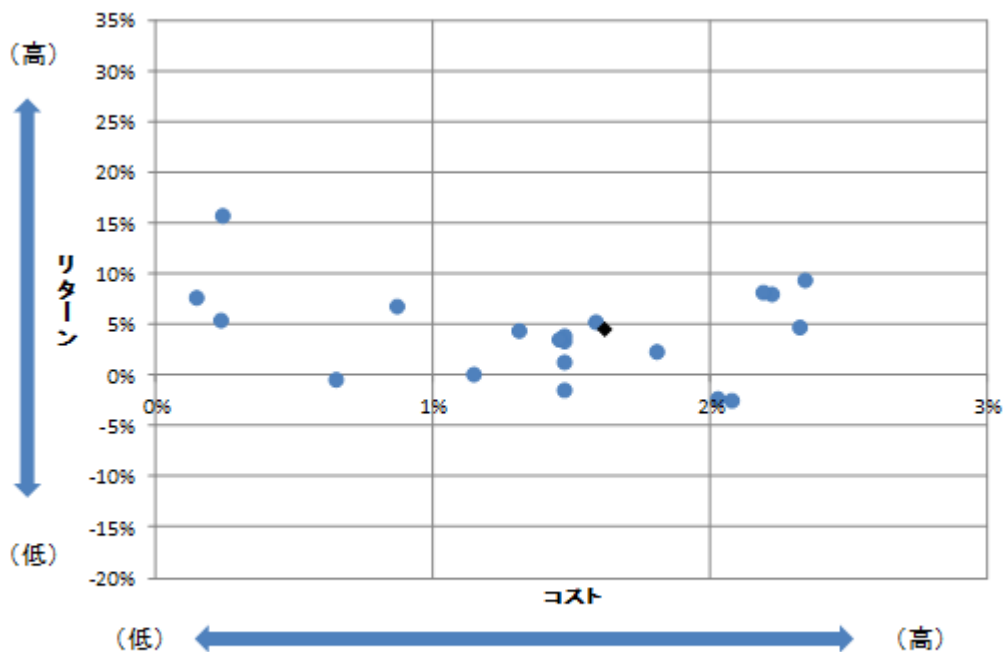
預り 順位	対象銘柄
1	しんきんJリートオープン（毎月決算型）
2	新光US-REITオープン
3	しんきん3資産ファンド（毎月決算型）
4	しんきんグローバル6資産ファンド（毎月決算型）
5	iFree 8資産バランス
6	女性活躍応援ファンド
7	ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）
8	しんきんJリートオープン（1年決算型）
9	しんきん好配当利回り株ファンド（3ヵ月決算型）
10	iFree 日経225インデックス
11	しんきんインデックスファンド225
12	日興ジャパンオープン
13	三井住友・げんきシニアライフ・オープン
14	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）
15	しんきん世界アロケーションファンド
16	新光US-REITオープン（年1回決算型）
17	iFree S&P500インデックス
18	しんきん世界アロケーションファンド（積極型）
19	ニッセイ日本インカムオープン
20	しんきん公共債ファンド

■投資信託預り銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン

【令和5年3月末】

■コスト・リターン

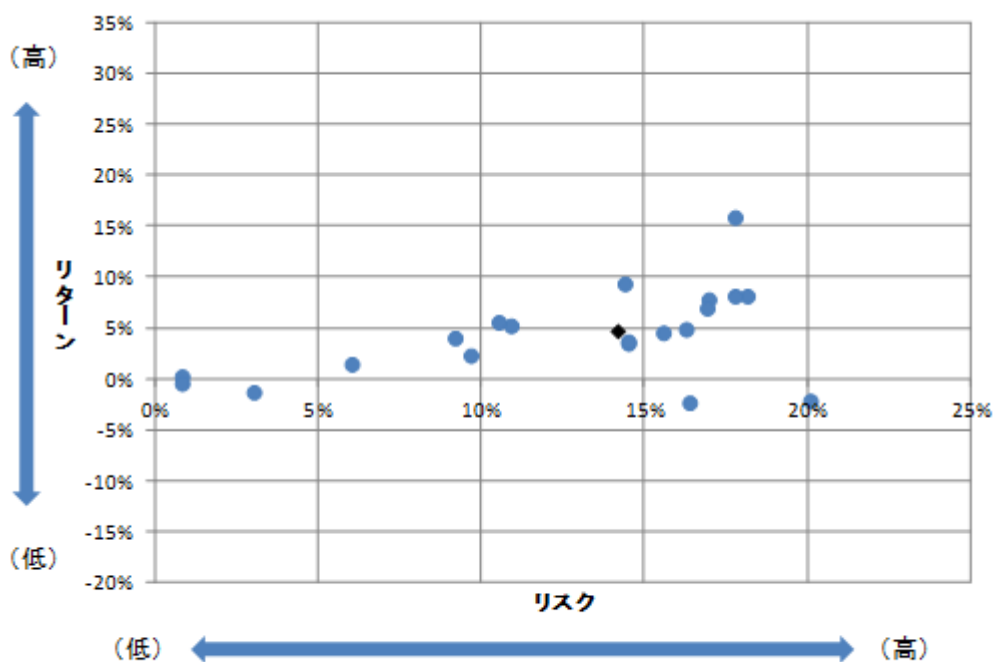
・コストは販売手数料（税込）の1/5と信託報酬率（税込）の合計値



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.62%	4.53%

■リスク・リターン

・リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



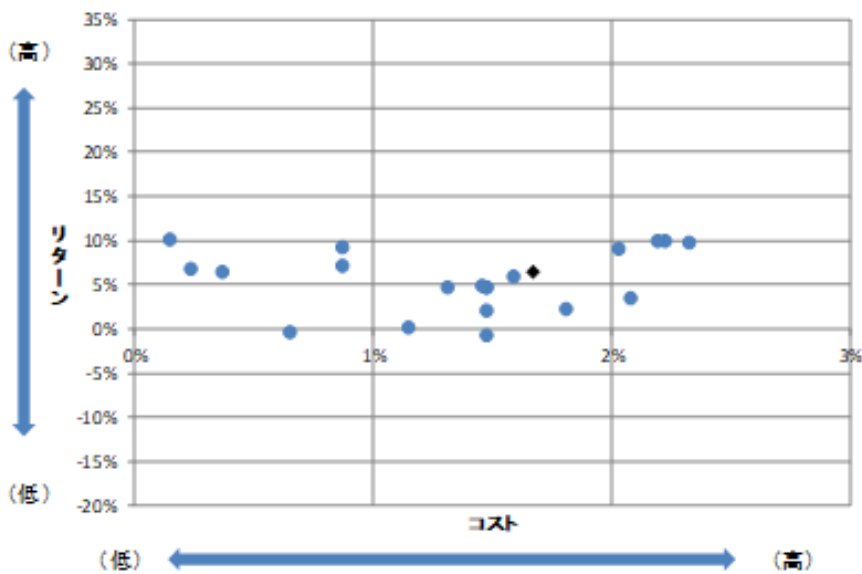
残高加重平均値	リスク	リターン
	14.23%	4.53%

■投資信託預り銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン

【令和4年3月末】

■コスト・リターン

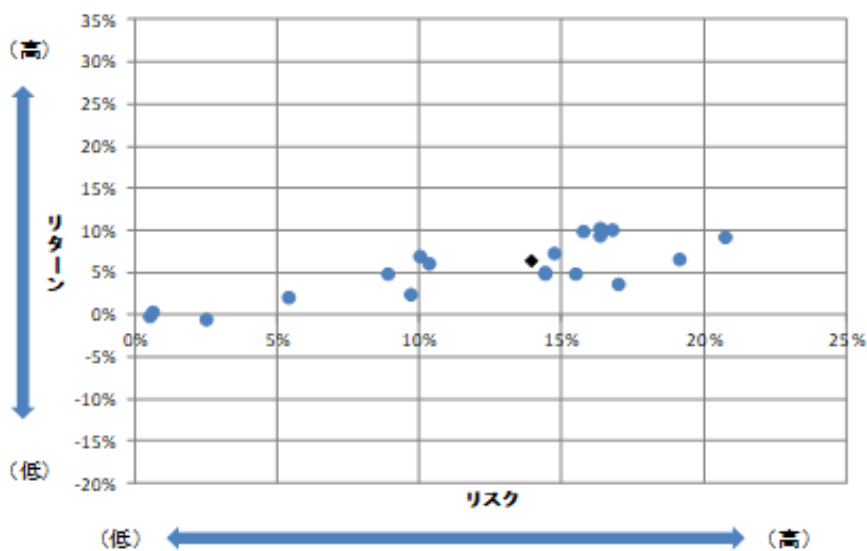
・コストは販売手数料（税込）の1/5と信託報酬率（税込）の合計値



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.67%	6.39%

■リスク・リターン

・リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



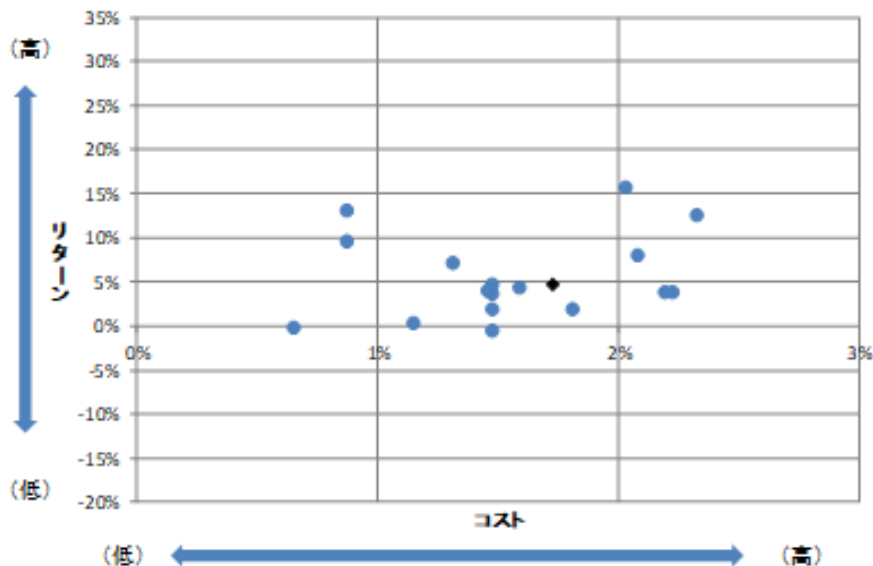
残高加重平均値	リスク	リターン
	13.97%	6.39%

■投資信託預り銘柄のコスト・リターンとリスク・リターン

【令和3年3月末】

■コスト・リターン

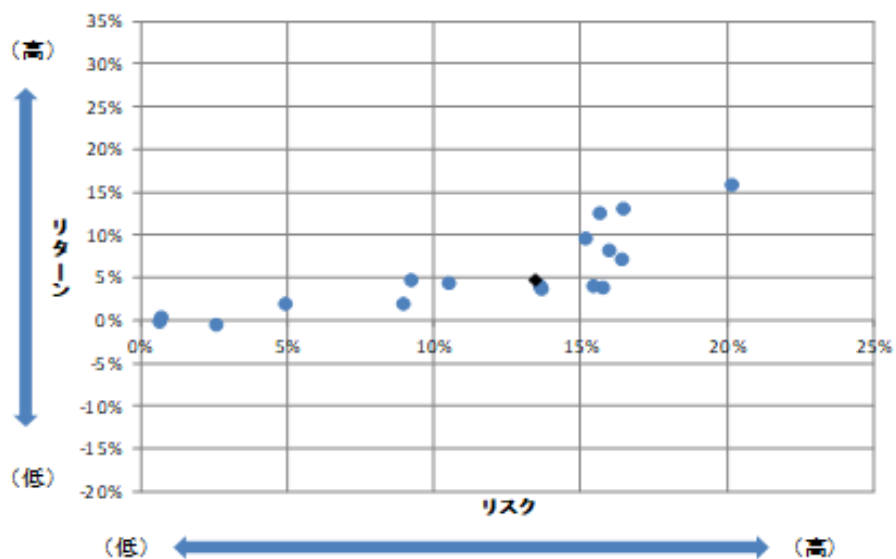
- ・コストは販売手数料（税込）の1/5と信託報酬率（税込）の合計値



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.73%	4.73%

■リスク・リターン

- ・リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.49%	4.73%

II 【自主的なKPI】

■投資信託のラインアップ 令和5年3月末

投資対象		取扱数
債券	国内債券	2
	海外債券	1
株式	国内株式	6
	内外株式	1
不動産投信	国内不動産投信	2
	海外不動産投信	2
内外資産複合（バランス型）		4
合計		18

つみたてNISA 専用商品	国内株式	1
	海外株式	2
	内外資産複合（バランス型）	1
合計		4

投資信託合計	22
--------	----

■保険商品のラインアップ 令和5年3月末

保険種類	取扱数
個人年金保険（定額）	1
一時払終身保険	2
医療保険	3
がん保険	2
傷害保険	1
業務災害補償保険	1
海外旅行傷害保険	1
ペット保険	1
住宅ローン関連の長期火災保険	1
債務返済支援保険	1
事業性保険	1
合計	15

■令和4年度 投資信託販売額上位5商品と投資対象

販売 順位	ファンド名	毎月 分配	運用会社	投資対象	販売 手数料率	運用管理 費用（年率）
1	しんきんグローバル 6資産ファンド （毎月決算型）	○	しんきんアセット マネジメント投信	内外 資産複合	2.20%	1.155%
2	しんきん Jリートオープン （毎月決算型）	○	しんきんアセット マネジメント投信	国内 不動産投信	2.20%	1.045%
3	iFree 8 資産 バランス ※		大和アセット マネジメント	内外 資産複合	0.00%	0.242%
4	しんきん 3資産ファンド （毎月決算型）	○	しんきんアセット マネジメント投信	内外 資産複合	2.20%	1.045%
5	新光 US-REIT オープン	○	アセットマネジメ ントOne	外国 不動産投信	2.75%	1.683%

※つみたてNISA 専用商品

販売手数料率、運用管理費用は税込

■外部専門資格の取得率

	令和3年 3月末	令和4年 3月末	令和5年 3月末
ファイナンシャル・プランニング 技能士1級	1.19%	1.22%	1.29%
ファイナンシャル・プランニング 技能士2級	36.97%	36.04%	37.79%
ファイナンシャル・プランニング 技能士3級	24.85%	27.69%	28.29%
金融窓口サービス2級	3.77%	4.07%	3.88%
金融窓口サービス3級	7.15%	7.94%	8.63%
相続アドバイザー3級	8.34%	7.94%	7.99%
年金アドバイザー3級	10.33%	9.97%	9.07%
職員数	503名	491名	463名

※職員数は、職員および嘱託

※取得率は、取得者／職員数

■令和4年度 職員に対する研修等の実施状況

対象者	講座名	受講者
新任渉外担当者および新任テ ラー	保険募集、投信販売業務に関するコンプラ イアンス研修	29名
新任内部管理責任者	登録機関業務に関する内部管理責任者研修 (2回)	計10名
証券外務員新規登録者	証券外務員新規登録者に対するコンプライ アンス研修(2回)	計25名
コンプライアンス担当者	保険募集に関するコンプライアンス研修 (2回)	計78名
営業責任者、内部管理責任者、 内部管理者	証券外務員制度における研修	112名
証券外務員資格取得後3年毎	登録機関業務に携わる証券外務員の再研修	95名
生命保険募集人登録者のうち 実際に販売に携わる職員	生命保険募集人の「継続教育制度」におけ る研修	379名
営業部店長、渉外担当役席	iDeCo+ (イデコプラス) 説明会	39名
渉外担当者(係長以上)、 預り資産リーダー	保険商品活用研修	73名

■つみたてNISA・iDeCo等の説明会実施状況

令和4年度説明会実施先	23社
-------------	-----

福利厚生パートナー契約先の代表者・従業員に対し、安定的な資産形成実現のため、長期・積立・分散投資の重要性を説明し、つみたてNISA・iDeCo等の説明会を実施しています。

福利厚生パートナー契約とは、当金庫の営業地域で事業をされている法人・個人事業主の方等が対象となる福利厚生サービスです。

Ⅲ 【取組状況】

1 お客さまにとって最善の利益の追求

- (1) お客さまの多様なニーズにお応えできるように、投資信託及び生命保険において様々なカテゴリの商品を取り扱っております。(自主的KPI P6)
- (2) 金融機関としての専門知識を活かしたご提案ができるようにファイナンシャル・プランニング技能士等の資格取得を奨励しております。(自主的KPI P7)

2 利益相反の適切な管理

- (1) 当金庫は、「利益相反管理方針」に基づき、営業部門とは独立した部門(リスク統括部)が、利益相反のおそれのある取引の特定及び利益相反管理を行っております。
- (2) 当金庫の「利益相反管理方針」の概要は、以下のホームページアドレスからご確認いただけます。

https://www.shinkin.co.jp/ichii/antisocial_forces_06.html

3 手数料等の明確化

- (1) 投資信託の手数料等について、目論見書および目論見書補完書面を使用し、わかりやすくご説明しております。
- (2) 購入時手数料については、お客さまの申込金額に応じた概算手数料金額の説明、保有期間中の運用管理費用、および解約時の信託財産留保額についても説明を行い、その説明内容を「販売・勧誘記録シート」に記録しています。
また「販売・勧誘記録シート」の記入内容は本部でも確認し、適切な説明が行われているかをチェックしています。

4 重要な情報の分かりやすい提供

- (1) 投資信託のご提案にあたって、「お客様カード」にお客さまの金融知識、投資経験、財産の状況および資産運用の目的をご記入いただき内容を確認しながら、目論見書および目論見書補完書面や「投資信託ラインアップ」等を使用し、わかりやすくご説明しております。
- (2) 投資信託の重要事項の説明に使用する資料(目論見書)は、顧客の注意を促すために重要事項が強調されている等、各運用会社等によりわかりやすく作成されております。
- (3) 当金庫の投資信託商品の一部に複数の上場投資信託を組み合わせた投資信託(ファンド・オブ・ファンズ)があり、販売を行う際には、当該商品の目論見書等を用いて、十分な情報提供を行っております。なお、該当する投資信託商品に組み合わせている上場投資信託を個別の金融商品として当金庫で購入することはできません。

5 お客さまにふさわしいサービスの提供

- (1) 「お客様カード」にお客さまの金融知識、投資経験、財産の状況および資産運用の目的をご記入いただき、最適な商品を提案するため「運用資産適合性チェック表」、「投信申込時チェックリスト」によりお客さまのニーズを把握したうえで金融商品の提案を行っております。
- (2) 当金庫の投資信託商品の一部に複数の上場投資信託を組み合わせた投資信託（ファンド・オブ・ファンズ）があり、販売を行う際には、お客さまの状況を十分に把握し、お客さまにふさわしいかどうか十分に留意して適切な提案を行っております。
- (3) 当金庫は金融商品の組成に携わっておりませんが、今後、組成に関わる際には、販売対象として想定するお客さまの属性等を特定・公表する等の対応を十分に行います。
- (4) ご高齢のお客さまには、お客さまのリスクの考え方に応じた適切な金融商品を提案できるよう「70歳以上の顧客へのチェック表」を活用し、場合によってはご家族の同席、責任者等の同席のうえご案内を行っております。
- (5) 投資信託のアフターフォローは、ご契約後もお客さまに安心してお取引いただけるようアフターフォローを3か月毎に実施（定時定額取引のみのお客さまは6か月毎に実施）しております。
また、ご高齢のお客さまについては、責任者が購入後のアフターフォローを実施し、本部の担当部署でも実施状況、説明内容、お客さまの反応等、適切に実施されているかを確認しております。
- (6) 職員へのファイナンシャル・プランニング技能士等の資格取得奨励や職員研修により、金融商品の仕組み等に係る理解の向上に努めております。また、職場セミナーを随時開催し、長期・積み立て・分散投資を活用したつみたてNISA、iDeCoをご案内して資産形成のお手伝いをしております。（自主的 KPI P7 P8）

6 職員に対する適切な動機づけの枠組み等

継続的に実施する職員研修を通じて、お客さま本位の考え方の浸透や専門知識の向上を図り、金融機関としての専門知識を活かしたご提案ができるようにファイナンシャル・プランニング技能士等の資格取得を奨励しております。（自主的 KPI P7、P8）

以上